TOKYO BAPTIST CHURCH 東京バプテスト教会
Weekend Message
週末メッセージが聞けます http://tokyobaptist.org/sermons/

力の福音：正義の胸当て

エフェソの信徒への手紙6:14

2024年2月10日 & 11日

余沢 武 牧師

I. はじめに

こんにちは。今週も続けてエフェソの信徒への手紙の重要な部分、私たちはどのように霊的な戦いを戦うのかということについて見ていきます。私たちは神にかたどって創られたということをクリスチャンとして学びました。けれども、まだ私たちは怒りや不品行を捨て去り、謙遜と従順を身につける必要があります。

しかし、私たちの敵である悪魔はその策略をもって、私たちが神に近づこうとすることを止めさせ、そして人間が互いに争うように騙そうとします。クリスチャンが家族や同僚、時には他のクリスチャンとも争ってしまうのはこのためです。

パウロは、私たちがこれに抵抗する手段を教えています。まず初めに、「真理の帯」を締めます。思いだしてください、私たちの目標は「神のご性質をあらわす」ことです。今日は、2 番目のステップについて学びます。まず祈りましょう。

II. 正義の胸当て

(1)胸当て

エフェソの信徒への手紙 6:14 を開きましょう。このように書いてあります。
つまり、立って、真理の帯を締め、正義の胸当てを着け、
今日は、後半の「(立って)正義の胸当てを着け」、英語の訳によっては「正義を鎧のように胸に着け」、に焦点を当てていきます。

ここで言及されている「鎧」、または「胸当て」とは、兵士の胸と腹部を覆う「金属製のプレート」のことを示し、兵士の「心臓」や「腸」を守るためのものでした。

古代のユダヤ人の考えでは、「心臓」は心を、「腸」は「感情」を象徴していました。パウロによると、この 2 つめの武具「正義」は、私たちの「心」と「感情」を守るためのものなのです。

(2)正義

では、私たちの心と感情を守れる「正義」とは何でしょう？「正しくある」とは、神の基準とご性質に倣うという意味です。そのため、「正義を身につける」とは 2 つの意味を持ちます。

イエスの「正義」を身に着けるという意味。何故なら私たちは神の基準に達することはできません。イエスはこの世に来られ、正しい人生を生きました。そしてイエスはその正義と私たちの罪深い命を交換し、私たちの罪深い命のために罰を受けてくださいました。

私たちがこのことを受け入れるなら、私たちはイエスの正義を受け取ります。「正義」を身につけるとは、イエスを救い主として受け入れ、イエスの正義を受け取ることで、私たちの罪が赦されるということです。

「正義を身に着ける」とは「正しいことを行う努力をして、神の基準とご性質に倣う」という意味にもなります。言い換えれば、怒り、不品行を捨て去り、謙遜、柔和、従順を身につけるために努力するということです。

しかし、この手紙を注意深く見てみると、見えてくることがあります：
ギリシャ語の文章は「身につける」をギリシャ語文法の「中間態」で表します。これは私たちによって行われるべきという意味です。パウロは、神によって私たちに与えられたイエスの正義について語っているのではなく、それは常に私たちが行う全ての基礎であると言っているのです。
「正義」という言葉はエペソの信徒への手紙の中 2 カ所で使われています。両か所とも「正義」を、神の基準とご性質に倣うために、私たちによって行われるべきもの、として引用しています。つまり、パウロは私たちに、神の基準とご性質に倣うために努力するようにと言っているのです。

悪魔の策略に打ち勝つために、私たちに必要なのは：
ステップ1：「真理の帯」を締める。忘れないでください、私たちの第一の目標は神のご性質をあらわすことです。
ステップ2：「正義の胸当て」を着ける。私たちが神の基準とご性質に倣うために努力する---それは私たちが今だに陥るかもしれないことを意味しています --- 怒り、性的不品行、ポルノ、謙遜や従順さの欠如など、----しかし、私たちは打ち勝つまで戦い続けるのです。

このプロセスは、ポルティア ネルソンによって書かれた書物:「5つの短い段落で書かれた自伝」を思い出させます。その部分を読ませていただきます。そこにはこのように書いてあります。
第1段階:道を歩く。歩道には深い穴があり、私は落ちてしまう。途方に暮れ、自分ではどうすることもできない。私のせいではない。脱出の方法をみつけるまでに延々と時間がかかる。
第 2 段階:道を歩く。歩道に深い穴がある。私はそれに気付かないふりをする。私は穴に落ちる。私は同じ穴の中にいることが信じられないが、私のせいではない。脱出するまでにまだ長い時間がかかる。
第 3 段階:道を歩く。歩道に深い穴がある。私はそれに気付く。やはり落ちてしまう。これは習慣なのだ。私の目は開いている。自分がどこにいるか分かっている。自分のせいだ。私はすぐに脱出する。
第 4 段階:道を歩く。歩道に深い穴がある。私はそれを回避する。
第 5 段階:違う道を歩く。

このようにして私たちは悪魔の策略と戦い、怒り、性的不品行、ポルノ、謙遜や従順さの欠如に打ち勝つのです。私たちはあきらめません。闘い続けるのです、私たちが勝利するまで。

(3)心と感情を守る

パウロによると、これも悪魔の策略から私たちが自分の心と感情を守る方法です。

私が大学 1 年生の時、家族と一緒にヨーロッパの団体旅行に参加しました。ツアーでは、ホテルの部屋に 2 名ずつ割りふられました。私は父と同部屋になりました。パリに滞在していたとき、夕食後の午後 8 時、私たちはホテルの部屋に戻っていました。すると父は私が驚くようなことを言いました。
「もう寝よう。明日の朝は早く起きる予定だから。」私は「お父さん、僕たちパリにいるんだよ。集団行動の後にようやく自由時間ができたのに。外にはたくさんの人たちがいるよ。それなのにもう寝るっていうの?まだ 8 時だよ!」

まあ、それでも父の考えは変わりませんでした。私が一人で外出することも許してくれませんでした。当然、私はその夜とても不機嫌でした。

当時を振り返ると、問題は父ではなく、自分自身だったということに気付きました。たしかに、私たちは外出できたかもしれません。しかし、私は父を敬うべきでした。彼は私の父親です。その上、私たちを旅行に連れ行ってくれたのです。全ての代金を払ってくれたのは父でした。問題は、私にはそれが見えていなかったことでした。その結果、私は悔い改められなかったのです。

それにより、私はあの夜をとても不快なものにしてしまいました。私は自分が愛する、そして私を愛している父と一緒に居たのです。それなのに私は不機嫌でした、それは私が正しいことを行う努力をしなかったからです。

パウロは、「そのようなことが私たちと天の父との間に起こってはいけない。正義を行い、神の基準に倣うように努力し続ければ、救いの喜びを失うことはない」と言っています。

数週間前、私は妻の美樹が洗濯物を洗い忘れ、仕事に着ていくシャツがなかった出来事をお話ししました。そして私は彼女に神の性質をあらわすことに完全に失敗しました。怒りを捨て去り、謙遜、柔和、従順を示すことに失敗したのです。そして彼女に対して腹を立てました。それは私の心から喜びを奪いました。私はまだ神の子供でしたが、完全に敗北した気持ちで不幸でした。

同じようにどのクリスチャンも罪深い習慣に苦しんでいる人は、それが怒り、性的不品行、ポルノ、謙遜や従順さの欠如であろうと、このように悪魔は私たちの心を攻撃します。私たちは敗北したように感じます。私たちが救われていることや、変わることができる力についてさえも疑うかもしれません。

パウロは、こう言います。「正義の胸当てを着けなさい。」悪魔の策略に屈してはいけません。忘れてはいけません、私たちの目標は変わることなく、神のご性質を身につけることなのです。その状況の中で、何が正しいのかを追い求め続けるのです。
洗濯物の出来事の例では、悔い改めて、赦しを請い、より良い夫になれるよう祈ることです。
パリの出来事についても同じです。私の目標は「神のご性質」をあらわすことだと知っているべきでした。その状況の中で何が正しいのかを追い求め― また、悔い改めて赦しを請い、尊敬に満ちた子供になれるよう祈るべきでした。
私たちがどのような罪に囚われていたとしても、私たちの目標はいつも「神のご性質」を身につけることであり、その状況の中で正しいことを追い求めることを忘れてはいけません。そして悔い改め、赦しを請い、神のご性質を身につけるために神に助けを求めるのです。

ここが重要です。変化はすぐには起こらないかもしれません。けれども私たちが追い求める時、私たちには平安があり、私たちはイエスの正義に休息する神の子供であることを知ります。そう、その瞬間、私は洗濯物の出来事の時悔い改めて、私の平安は回復したのです。

ヨハネの手紙一 1:6 にはこう書いてあります。
神と交わりを持っていると言いながら、闇の中を歩むなら、私たちは偽りを述べている のであり、真理を行ってはいません。
（「闇の中を歩む」とは罪深い生活スタイルに甘んじることを意味します）
しかし、ヨハネの手紙一 1:8-9 にはこうあります。
8 自分に罪がないと言うなら、自らを欺いており、真理は私たちの内にありません。
（私たちは罪深いことに気付くべきです。）9 私たちが自分の罪を告白するなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、あらゆる不正から清めてくださいます。

クリスチャンとは完璧にされた人たちではありません。私たちは完全な者へと変えられる途中にあることを知っている人たちなのです。もし私たちの人生が正義を追い求めることについてだとしたら、私たちはまだ、つまずく時があるでしょう、しかし、私たちは神の子供であることを知り、そして悪魔は私たちの心をかき乱すことはできません。

お知らせ：「正義の胸当てを着ける」とその印として、神と他者に頻繁に赦しを請うことに気付きます。

もしあなたが神と他者に、家で、職場で、教会で赦しを請うことが多いのだとしたら、あなたは「正義の胸当て」を着けているからです。
一方で、もし私たちが他者に全く赦しを請うことがないとしたら、それは私たちが自らの「不正義」に気付くことができなかったからでしょう。

ルカによる福音書 18 章にある、ファリサイ派の人と、神殿で祈る徴税人の話を思い出してください。
ファリサイ派の人はこう言いました。「神様、私はほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でなく、また、この徴税人のような者でないことを感謝します。私は週に二度断食し、全収入の十分の一を献げています。」
徴税人はただ胸を打ちながらこう祈りました：「神様、罪人の私を憐れんでください。」
イエスは、義とされて家に帰ったのは、自分がどれだけ罪深いかを知っていた徴税人だったと言っています。

パウロは、「正義の胸当てを着けなさい。」と言っています。私たちは何度も失敗するでしょう。私たちは何度も何度も赦しを請うことでしょう。けれども諦めてはいけません。それを通して、私たちは「神のご性質」に向けて変えられていく途上にあることを知るでしょう。私たちは悪魔の策略に打ち勝っていくのです。

あなたの人生の中に、悪魔によって責め立てられている罪がありますか？「正義の胸当て」を着けてください。イエスのもとに行き、赦しを請い、助けを求めてください。これが、あなたが神の子供であることのしるしです。あなたは平安を得るでしょう。いつの日か、神の御技があなたの中で成し遂げられることを知るでしょう。

指定のない限り聖書は協会共同訳を使用しています。
聖書 協会共同訳: ©日本聖書協会
Japan Bible Society, Tokyo 201

キリストのことをもっと知りたい
洗礼を受けたいという方はこちら
メール：cc@tokyobaptist.org
もしくは：https://t-b-c.us/cc

TBC Life 申込み
（毎週届くメールニュース）
http://t-b-c.us/tbclife

SG レッスンの PDF
https://t-b-c.us/sg0724jp

★クラス 401
人生の使命を発見する
2 月 18 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: クラス 301 まで修了した TBC 教会員

★クラス 101
自分の賜物発見クラス
2 月 25 日（日）1:00pm - 5:00pm
参加条件: 教会員になるためのクラス
https://t-b-c.us/classes

オンライン献金
http://t-b-c.us/give

スモールグループ参加申込み
http://t-b-c.us/sgsu

奉仕者募集中！

1. 日本語字幕オペレーター

月 1～各礼拝の時間の日本語字幕のページを矢印キーで押していく作業。コンピュータースキルはいりません。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

2. 日本語訳字幕作成

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。Mac でプロプレゼンターというソフトで作成しますが、1，2 回のトレーニングで簡単に覚えられます。作成後、土曜日 19 時の礼拝の日本語訳字幕オペレーターもお願いしています。
スキル：英語を聞いて日本語がどこを話しているかわかる程度の英語力

3. 週末礼拝メッセージ翻訳

1 か月半に 1 度くらいのペース
自宅での作業になります。
英語のメッセージ原稿を日本語に翻訳します。
スキル：英語と日本語が堪能な方

4. 日本語訳レイアウト&印刷（女性募集）

月 1～土曜日 16 時に TBC にて作業します。
MS Word を使用してひな形に入れてレイアウトし印刷します。
スキル：MS Word の簡単な操作ができる方。
英語のスキルは必要ありません。

*TBC の教会員であることが必須です。

連絡先：hiromik@tokyobaptist.org